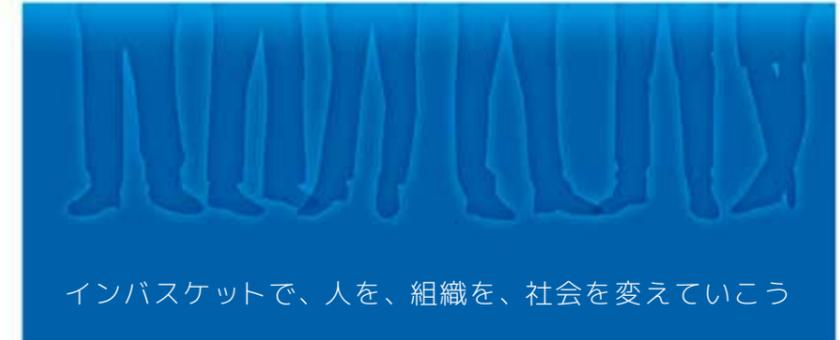




iNBVS



会社案内



インバスケットで、人を、組織を、社会を変えていこう

### 株式会社 インバスケット研究所

東京本社 / 〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-32 タイム 24ビル 17階  
大阪本社 / 〒599-8237 大阪府堺市中区深井水池町 3152 KU深井オフィスビル1・3・4階

### 株式会社 インバスケット研究所

インバスケットを通じて多くの方々に、よりよい判断をしていただきたい。  
それが私たちのただ一つの願いです。

### 「新しい挑戦で幸せを実現する」

当社はインバスケットだけを開発研究している、日本でたった一つの組織です。  
お客様のステップアップをサポートする使命を、インバスケットを通じて達成することが  
私たちの社会的な存在価値と捉え取り組んでいます。

私自身もこのインバスケットで、自身の課題や判断パターンに気づき、自身の成長や変革の  
ステップとしてきました。ですから、アセスメントだけではなく教育ツールとして、多くの方に  
活用していただきたいと、心より願っています。

当社のロゴのAは逆になっていることに気づかれましたか？ これは「全称記号」といい、すべて  
を対象にするという意味を持っています。私たちは世界中の多くの方にインバスケットをお伝えし  
幸せの実現を目指しています。世界でたった一つのインバスケットの会社だからこそ、この仕事に  
誇りを持ち、インバスケットを愛し、新しい挑戦を続けていくことに社員一同邁進してまいります。



代表取締役社長 鳥原 隆志

### インバスケットとは

まだ決裁がされていない書類が入った「未処理箱」を意味しており、  
1950年代にアメリカ空軍で導入されたトレーニングツールです。  
主人公の立場になりきり、制限された時間内に、お客様からのクレームや  
部下からの相談など、どの職場でも起こりうるような案件を、的確に、  
かつ迅速に、精度高く処理できるかどうか、を測る  
ビジネスシミュレーションゲームです。



# 教材開発事業

「知っている」を「できる」にする、体験型教材を作る



こんなシーンで活用されています



社内での教育に



日本全国の研修会社様に教材を供給しています



ご自宅でのインバケット・トレーニングに

お客様のニーズをもとに、インバケット教材を開発する事業です。当社のコア事業といえる位置付けで、お客様のニーズに応える教材を日々開発しています。インバケット教材には、測定する能力を開発育成することはもちろん「受験者が主人公になりきる」「想像を超える現実感」「シーンに合わせた設定」などの当社のこだわりと、シミュレーションゲームだからこその精度が要求されます。現在も、管理職やリーダーだけではなく、新入社員層、経営層、海外版やオンライン版など、さまざまなニーズにお応えできる教材を、日々開発しています。これからも環境の変化に応じて、お客様がより使いやすい、そしてより付加価値の高いものへと発展させるべく、事業を行っていきます。



世界各国で活用されている、当社のインバケット教材



# スコアリング事業

日々の仕事を「見える化」して、変革のスタートにする

The image shows a transition from a handwritten 'Case Decision Sheet' (left) to a printed 'In-Basket Score Analysis Report' (right). The report includes a table with columns for 'Category', 'Score', and 'Analysis', and a bar chart titled 'インバケットスコアの見える化' (Visualization of In-Basket Scores).

項目	評価スコア	平均スコア	偏差スコア	評価項目解説
総合評価スコア	3.2	3.0	0.2	
A 知識習得	4.4	3.0	1.4	知識習得が非常に高い。事例の理解、事例の活用が非常に高い。
B 実践力	2.6	3.0	-0.4	実践力不足。事例の活用が非常に低い。事例の活用が非常に低い。
C 理解力	3.2	3.0	0.2	理解力が平均的。事例の理解が平均的。事例の理解が平均的。
D 知識活用	2.2	3.0	-0.8	知識活用が非常に低い。事例の活用が非常に低い。事例の活用が非常に低い。
E 実践力	4.5	3.0	1.5	実践力が非常に高い。事例の活用が非常に高い。事例の活用が非常に高い。
F 理解力	2.9	3.0	-0.1	理解力が平均的。事例の理解が平均的。事例の理解が平均的。
G 知識活用	3.8	3.0	0.8	知識活用が平均的。事例の活用が平均的。事例の活用が平均的。
H ヒューマンスキル	3.1	3.0	0.1	ヒューマンスキルが平均的。事例の活用が平均的。事例の活用が平均的。
I 知識活用	3.0	3.0	0.0	知識活用が平均的。事例の活用が平均的。事例の活用が平均的。
J 実践力	2.5	3.0	-0.5	実践力が平均的。事例の活用が平均的。事例の活用が平均的。

インバケットの回答から受験者の能力を数値化し、その結果をもとに個人の能力開発を行う事業です。当社の最大の技術である「スコアリング」を使って年間延べ 6,491 名<sup>\*1</sup>の方の行動を分析し、個人の能力開発だけにとどまらず、幹部や管理職への昇格試験での選抜、企業全体の人材課題の抽出など幅広くご活用いただいています。

※1：2023 年度集計

こんなシーンで活用されています



有能な人材を選抜するため、企業の昇格試験で活用

# 研修事業

最高のプログラムで、最大の気づきを受講者に与える



インバケット教材を活用して、講師が受講者に能力開発プログラムを提供する事業です。当社の「インバケット公開セミナー」は、累計 9,171 名以上<sup>\*2</sup>の方が受講しています。また、多くの企業や官公庁に講師を派遣して、当社のプログラムを実施しています。オンラインプログラムを筆頭に、ニーズに応じたプログラムを構築しますが、どのプログラムも「覚える」ではなく「できる」ようにするアウトプット型であることには変わりありません。

※2：2012 年～2023 年 12 月までを集計

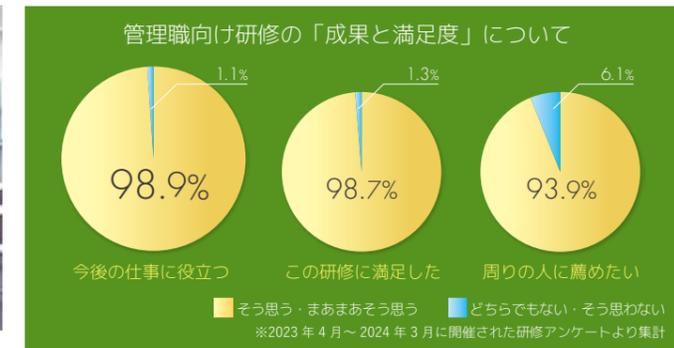
## プログラム例

<p><b>新入社員研修</b> 初めてビジネスパーソンとして働く方を対象に、社会人の基礎を習得します</p>	<p><b>2 年目～5 年目若手社員研修</b> より効率的、かつ、成果の上がる仕事の進め方を習得します</p>
<p><b>管理者・リーダー向け研修</b> マネジメント力、判断力などを体得します</p>	<p><b>経営層向け研修</b> 経営視点に立って、問題解決・戦略立案を行います</p>
<p><b>オンライン研修</b> WEB インバケットを使用して、より実践的な研修を行います</p>	<p><b>グループ・ディスカッション研修</b> 専用教材を使用したグループワークで対人能力を強化します</p>

どの研修にもない、最大の気づきが得られます



インバケット研究所 東京本社のインバケット研修センター



## インバケット講師養成事業

インバケット定着のために、各企業、各地域にインバケットの使い手をつくる



インバケット教材を使って研修や教育を行えるエキスパートを養成する事業です。  
インバケットはトレーニングツールですので、一度研修をただけで能力が伸びるものではありません。  
そこで、企業や地域にインバケット講師を養成し、  
継続的にトレーニングを続けていただけるようにするのがこの事業の目的です。  
いわば、インバケットの伝道師を養成する事業です。

## 会員事業

トレーニング継続のためのプラットフォームを提供する



インバケット勉強会まならぼ (旧インバケットの会) (2019年5月18日撮影)

同窓親会 (2019年5月18日撮影)

インバケットでは継続学習が重要です。定期的な勉強会、オンライン授業やポイント制の導入など、仲間とともにトレーニングする場と、交流する機会を提供する事業です。

## 海外事業

アメリカで生まれ日本で育ったインバケットを、世界のインバケットへ



国内だけではなく、世界各国にインバケットを広げて活用してもらう事業です。  
インバケットはアメリカから日本に入ってきたツールですが、  
現在では日本でリメイクされたインバケットが各国から注目を浴びています。  
現在、世界の13か国以上で当社のインバケットが活用されています。



## 教育事業

インバケットソリューション

ビジネスパーソンのためのツールであるインバケットを、小学生や中高生をはじめとした、子どもたちの教育にも活用してもらえよう、教育事業を推進しています。

自ら課題を見つけ、考え、判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていくための「生きる力」を子どもたちに身につけてもらうためのコンテンツを目指し、事業部一丸となって未踏の領域への挑戦を続けています。

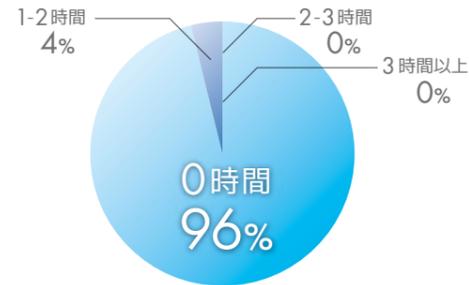


## 私たちの目指す働き方

### 残業「0」を目指します

「限られた時間で成果を出す」インバケット思考を自ら実践します。

インバケット研究所の残業実績



2022.11～2023.10の個人別・月別残業時間/21日（標準出勤日数）  
=1日当たりの平均残業時間としています

無駄な書類をなくすため、書類入れは1人1つのクリアボックスだけ

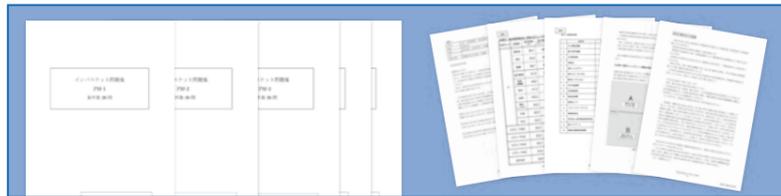


### お客様と共に学び続けます

お客様に教えられ、お客様と共に学び、成長します。



インバケット勉強会「まならぼ」で、お客様と一緒に案件処理



三井住友海上プライマリー生命保険株式会社様と共同開発のオリジナル問題集・採点システム

### 正社員の成長は会社の財産です

社内研修や研修旅行、選択型福利厚生アプリの導入など、福利厚生も充実しています。



研修旅行では当社の創立10周年記念ロゴをグループごとに考案し、発表（2019年11月撮影）



月に一度の「楽しい会議」で、価値観共有

### 社会貢献

私たちは企業活動を通じての社会貢献とは別に、  
教育や文化の発展に寄与する「利他の精神」を大事にしたいと考えています。  
その一環として、継続的に団体様を支援しています。

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 様、一般社団法人 手話エンターテインメント発信団 oioi 様に支援をしています。

## About Us 企業概要と沿革

### 企業概要

社名	株式会社インバケット研究所		
英語社名	Inbasket Research Institute, Ltd.		
代表者名	代表取締役社長 鳥原 隆志		
設立	2006年（平成18年）1月 「インバケット研究会」として活動を開始 2009年（平成21年）11月13日「株式会社インバケット研究所」設立		
資本金	10,000,000円		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■インバケット法を用いた個人・法人向け教材開発・販売</li> <li>■インバケット法を用いた人材育成、並びに能力開発に関する各種セミナー</li> <li>■講習会・研修会の企画・開催、並びに運営・管理</li> <li>■インバケット法を用いたヒューマンアセスメントに関する情報、並びにサービスの提供</li> <li>■マーケティングリサーチ業務、及び経営コンサルタント業務</li> </ul>		
取引銀行	南都銀行 初芝支店 / 三菱UFJ銀行 大美野支店 / 楽天銀行		
取引実績	東証プライム上場企業含む、国内外延べ1,200社以上（2024年10月現在）		
所在地	<b>東京本社（法人部門のみ）</b> 併設：インバケット研修センター 〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-32 タイム 24ビル 17階	<b>大阪本社</b> 〒599-8237 大阪府堺市中区深井水池町 3152 KU深井オフィスビル1・3・4階  <b>インバケット大阪研修センター</b> 〒599-8237 大阪府堺市中区深井水池町 3166	<b>インバス アカデミー豊洲校</b>  〒135-0061 東京都江東区豊洲 5-5-20 EARTHWIND TOYOSU BLDG. 2階
ホームページ	<a href="https://www.inbasket.co.jp/">https://www.inbasket.co.jp/</a>		
関連団体	株式会社インバスマディア、一般社団法人 日本判断力向上連盟		

### 企業沿革

2006年	1月	インバケット研究会として活動を開始	2018年	10月	女性リーダー職向け問題集「ラ・ボッテ」発売
	3月	個人用インバケット問題集販売開始	2019年	3月	災害対策に使えるWEBインバケット問題集「アレックス」発売
		「問題集A」「問題集B」「問題集C」発売		4月	大阪府堺市中区にインバケット大阪研修センター開設
2009年	4月	冊子型教材『インバケット・レポート』発売		9月	検定事業が「一般社団法人 日本判断力向上連盟」として独立
	11月	株式会社インバケット研究所設立、本社を大阪府堺市中区に置く	2020年	2月	「株式会社インバケット研究所創立10周年 & 鳥原隆志新刊50冊刊行記念式典」開催
2011年	6月	書籍『インバケット思考』発売			『MYマニュアル』販売開始
	12月	ネットスクールN-Academyで「インバケット入門講座」開始		4月	オンライン研修開始
2012年	5月	書籍『インバケット思考』が「ビジネス書大賞2012書店賞」受賞		7月	人事考課問題集「ミラノ」発売
2013年	4月	東京都港区に東京オフィス開設		12月	語群選択式「クイックインバケット」提供開始
	6月	三井住友海上プライマリー生命保険株式会社様と業務提携を締結、共同開発を発表	2021年	3月	「社会人基礎力分析サービス」提供開始
2015年	4月	インバケットを用いた「判断力検定試験」の実施概要を発表、受付開始		5月	プライバシーマークを取得
2016年	5月	東京オフィスを東京本社とし、東京都江東区へ移転、併せてインバケット研修センター開設	2022年	7月	アセスメント試験用のWEBシステム「シンプルインバケット」の提供開始
	10月	オンラインサービス「WEBインバケット（旧『インバケット・ラーニング・システム』）」提供開始	2023年	7月	発言と動作・所作で能力を測定する「グループインバケット スコアリング」の提供開始
2017年	11月	NHK Eテレ「オイコノミア」に鳥原隆志が出演		10月	課題となる能力を改善・強化するための教材「インバケット能力改善サプリ70」の提供開始
	12月	大阪府「男女いきいき・元気宣言」事業者に登録	2024年	1月	「社会人基礎力クイック診断」の提供開始
2018年	6月	株式会社アタックス・セールス・アソシエイツ様との共同開発を発表		6月	子ども向け教育施設「インバス アカデミー豊洲校」開校